

(平成28年10月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	10月の青果物は、8月・9月の台風被害や曇雨天による記録的な日照不足により、多くの品目・産地で、生育不良等による出荷量の減少が見られた。入荷量は前年同月比で9%下回り、品薄により野菜全般の引き合いが強まったことで、価格は28%上回った。 11月は、聖護院ダイコンや大かぶ、海老イモ等の秋冬野菜が12月にかけて出荷のピークを迎え、春菊やハクサイ、^{きんたけ}菌茸等の鍋商材も増加が期待される。また、ミカン^{とね}は早生種、リンゴはサンふじがメインになり、柿は^{ひらたねなし}刀根・^{ふゆう}平核無が富有に切替わり、アンポ柿等の入荷が増え、あまおう等のイチゴの入荷が始まる。
野 菜	野菜は、8月の台風上陸による産地被害で減少していた土物類の入荷は前年並みに落ち着いたものの、9月からの秋雨前線停滞により葉物類や果菜類の収穫や生育に影響が出たことで、月を通じた入荷量は前年同月比で8%下回り、価格は高値推移した前年同月をさらに30%上回った。 根菜類は、入荷量が前年同月比で9%下回り、量販・加工用の引き合いが強く、価格は64%上回った。 葉菜類は、入荷量が前年同月比で15%下回り、価格は42%上回った。 果菜類は、入荷量が前年同月比で8%下回り、価格は35%上回った。 土物類は、入荷量が前年同月並みとなったが、品薄感が強く価格は15%上回った。
果 実	果実は、9月の日照不足や多雨による生育不足と、ナシ類やブドウ類等の前進出荷に伴う早目の切れ上がりが影響し、全般的に入荷が減少した。入荷量は前年同月比で17%下回り、価格は16%上回った。 柑橘類は、入荷量は前年同月比18%下回り、価格は32%上回った。 リンゴ類は、入荷量は前年同月比4%下回り、価格は11%上回った。 ナシ類は、入荷量は前年同月比で14%下回り、価格は14%上回った。 カキ類は、入荷量は前年同月比で29%下回り、価格は21%上回った。 ブドウ類は、前進出荷傾向で切れ上がりが早く、入荷量は前年同月比で39%下回り、価格は33%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン 西洋ニンジン	石川，福井，北海道から入荷され，台風の影響により北海道産の切上がりが早く，入荷量は前年同月比で５％下回り，価格は５３％上回った。 台風による圃場被害を受けた主力産地の北海道を，中国産で補う形で入荷され，入荷量は前年同月を１９％下回り，強い品薄感から，価格は１５５％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ レタス	長野から入荷され，作柄悪く小玉傾向で，入荷量が前年同月を１１％下回り，量販等の引き合いが強く，価格は６６％上回った。 長野，群馬から入荷され，入荷量は前年同月比１１％下回り，量販・業務加工用の需要が高く，価格は高値だった昨年同月を２４％上回った。 岐阜を中心に茨城，群馬，京都，滋賀から入荷され，日照不足から入荷量は前年同月比４０％下回り，価格は６１％上回った。 長野から入荷され，入荷量はで入荷の少なかった前年同月を７％下回り，量販・加工需要が強く，価格は５３％上回った。
【果菜類】 キュウリ ナス トマト ピーマン	北海道，福岡，群馬から入荷され，前年同月を２８％下回り，価格は８３％上回った。 夏秋産地の徳島，香川，岐阜，京都と，冬春産地の岡山，高知から入荷され，前年同月比で入荷量は３％上回ったが，全体的な品薄感から価格は１１％上回った。 北海道，岐阜，熊本，福岡，京都から入荷され，入荷量は前年同月並みとなったが，全体的な品薄感から，価格は２１％上回った。 大分，兵庫，茨城，宮崎，高知から入荷され，入荷量は前年同月を１３％下回り，価格は５２％上回った。

【土物類】 バレイショ (メーク含む) タマネギ 【その他野菜】 松茸 栗	北海道から入荷され、台風の影響もあまり見られず入荷量は前年同月並みとなったが、全体的な品薄感から価格は55%上回った。 北海道を中心に兵庫からも入荷され、入荷量は前年同月比で3%上回ったが、兵庫産の品薄から価格は8%上回った。 中国を中心にカナダ、長野、岩手から入荷され、豊作で各地とも順調に入荷し、入荷量は前年同月を55%上回り、価格は41%下回った。 愛媛、島根、山口、京都を中心に入荷され、入荷量が前年同月を14%上回ったが、引き合いが強く、価格は17%上回った。
---	---

主要品目（果実）	市況の概況
極早生ミカン	和歌山，福岡から入荷され，９月の降雨・曇天により入荷量は前年同月を１９％下回り価格は３２％上回った。
津軽 （サン含む）	青森から入荷され，前進出荷により切れ上がりが早く，前年同月比で入荷量は４１％下回り，価格は６％上回った。
ふじ （サン含む）	青森から入荷され，産地が前進出荷傾向で入荷量が前年同月を４８％上回ったが，全体的な品薄感から，価格は４％上回った。
富有柿	福岡，奈良から入荷され，９月の降雨により正品率が下がり，入荷量が前年同月を４６％下回り，価格は２２％上回った。
刀根・平核無柿	和歌山，福井，奈良から入荷され，入荷量が前年同月を２７％下回り，価格は２５％上回った。
巨峰	長野，山梨から入荷され，前進出荷で早目に切れ上がり，入荷量が前年同月を４５％下回り，価格は前年同月を２１％上回った。
アールス	静岡，茨城から入荷され，前年同月比で入荷量は６％上回り，価格は１５％下回った。